

景況調査 結果報告 Vol. 3 ~アンケート期間H29. 1月-3月~

今回、第3回目となる景況調査の報告をします。前回に引き続き、事業経営のベースとなる「売上」に注目し、全国の調査結果と鳥栖の調査結果をDI値にて比較しました。

景況調査（売上額DI結果）全国版

	10-12月	1-3月	前期差
製造業	▲16.1	▲18.3	▲2.2
建設業	▲12.5	▲12.3	0.2
卸売業	▲20.0	▲19.7	0.3
小売業	▲25.6	▲37.4	▲11.8
サービス業	▲15.6	▲21.3	▲5.7

注目ポイント

製造業、小売業、サービス業は前期と比べるとマイナスとなりました。
建設業、卸売業は前期からDI値の伸びがみられます。

景況調査とは・・・

中小企業、小規模企業の景況を把握し、資料や情報の収集の為四半期毎にアンケート方式で実施しています。

- ◆調査期間 平成29年1月～3月
- ◆対象企業 鳥栖市内小規模事業 28事業所
- ◆業種 製造5、建設4、卸売3、小売6
サービス10 計28事業所

※小規模事業とは、商業・サービス業では従業員5名以下、それ以外の業種は20名以下の企業をいう。

DI値とは・・・

ゼロを基準として、プラスの値は上向き傾向を表し、マイナスの値は下向き傾向を表します。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの割合)

景況調査（売上額DI結果）鳥栖版

	10-12月	1-3月	前期差
製造業	▲20.0	▲40.0	▲20.0
建設業	▲25.0	▲75.0	▲50.0
卸売業	▲66.7	0	66.7
小売業	▲33.3	▲85.7	▲52.4
サービス業	20.0	▲54.5	▲74.5

注目ポイント

製造業、建設業、小売業、サービス業は前期と比べるとマイナスとなりました。
卸売業は前期からDI値の伸びがみられます。

《対策》

当初HPに「お客様から求められる商品・サービス」というテーマで【商業界10月号 特大号P110 商人の母】【商業界11月号 P10～P13 お値打ちの創り方】を参照記事として掲載しております。

事例を使った内容とポイントを押さえた、分かりやすいものとなっております。
サービス向上に繋げてみてはいかがでしょうか？是非ご覧ください！！

URL <http://www.tosucci.or.jp/>



会議所からご提案です

是非、ご覧下さい！